

平成22年8月3日(火)

パイロットフォレストで教員初任者研修を実施

8月3日(火)、北海道教育庁釧路教育局が実施する初任者研修(宿泊研修)がパイロットフォレストで行われました。この研修は2泊3日の予定で厚岸少年自然の家を拠点に行われ、「野外における諸活動の指導法の基礎を取得し、今後の教育活動の充実に役立てる」ことを目的としています。研修には、今年度釧路管内で新しく教員(小・中・高校・特別支援学校)に採用された76名の皆さんが参加しました。

この研修の支援に当たっては、参加者数が76名と多いこともあり、釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターと根釧西部森林管理署が共同して体験プログラムを準備し、それぞれの体験がスムーズに出来るよう実施方法等を検討し取り組みました。

体験プログラムには、間伐体験、枝打ち体験、カミネッコンによる苗木作りと望楼からのパイロットフォレスト・カラマツ林の見学、の3つを準備し、グループに分かれて体験した後、全員でカミネッコンの植樹をしてもらいました。また、実施に当たっては、それぞれの作業の意義を理解してもらうこと、転倒や刃物によるケガ、蜂刺され等を防ぐこと、



間伐体験



間伐体験



間伐体験(弦の残し方が上手で自然に倒れる)

には特に留意しました。

研修生の皆さんからは次のような感想が寄せられました。「環境保全のためどのようなことが行われているのか、実際に体験することでより知ることができました（女性・特別支援学校）。」「釧路で育ちながらこのような体験はほとんどしたことがありませんでした。子どもに自然体験活動をさせる前に我々教師が味わっておくべきだと感じました（女性・中学校）。」「何より自然を肌で感じることの楽しさを再確認できました。子どもにも定期的にこうした活動を体験させたいと思います。その上で、森林を良くする活動やその大切さを伝えたいです（男性・小学校）。」

この研修が契機となり、近い将来、子どもたちの環境学習につなげてもらえる先生が一人でも現れたらうれしいと思います。担当職員一同がこのような期待を持ち、初めての教員初任者研修の支援プログラムを終了しました。

（自然再生指導官 國井）



枝打ち体験



間伐の意義の説明



カミネッコン作り



カミネッコン苗木の植樹